
異能戦線高等学校

NEMIGI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異能戦線高等学校

【Nコード】

N0277Z

【作者名】

NEMIGI

【あらすじ】

高校生になった俺に待ち受けていたものは

”普通”という現実だった

そんな世の中に俺は少し物足りなさを

感じていた。

それはある日突然やって来た。

『竜崎 絵美』という激流に飲み込まれていた

俺はなす術もなく流されていくのであった。

プロローグ（前書き）

学園物ファンタジーです。

幾多の能力で学園バトルが繰り広げられます。

バトル、時に恋愛、ほのぼのといった感じですが。

誤字脱字はあると思いますが宜しく願います。

プロローグ

四月一日桜が満開に咲き誇るこの季節。
今日俺は高校生になる。

今思い返せばこれまでの十六年間俺は普通に
呆れるほど普通に生きてきた。

そりゃあ小学校低学年の頃は自分が戦隊物の
なんとかレンジャーとか巨大怪獣の侵略から地球を守る巨人になる
夢があつたわけだ。

しかしそんな夢も中学に入る前には疑問になっていて、何で怪獣
やろうは最初から巨大化しないんだ？とか出し惜しみしてないでさ
っさと奥の手つかえよ。と思っていた。

中学の時も幽霊や超常現象、超能力？そんな物
無い！って思っていた。
少しそんな事を思ったとしてもチャイムの音と同時に現実に引き戻
される。

現実とは残酷な物だ。

まあ今の俺はそんな事より普通の男子高校生がする妄想と言つた
の想像力が発達していたのさ。

普通だろ？

そう、普通が当たり前この世の中

俺は少し物足りなさを感じていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0277z/>

異能戦線高等学校

2011年12月1日01時49分発行